

第3回 コミュニケーション分野

お申込みは
こちらから



言語情報の 有効活用!

2021年 **10月22日**(金)

 **18:00~19:30**

Zoom (リアルタイム配信)

タイムスケジュール

18:00~18:40 講演 1

18:40~19:20 講演 2

19:20~19:30 まとめ

産業・流通・金融・公共などほとんどの業種の企業にはコンタクトセンターが存在する。コンタクトセンターは、これまでは労働集約型のビジネスであったが、データサイエンス技術の発展により大幅な効率化が見込まれる。深層学習などのAI技術の進展により、文字や音声データ等の自然言語の分析能力が向上し、これまで蓄積されているビッグデータの活用が可能となってきている。

しかし自然言語処理技術のビジネス応用のためには、言語学の基本的知見に加え、深層学習と自然言語処理に関する深い知見が必要であり、企業が単独で取り組むにはハードルが高い。企業内でデータサイエンスを推し進めるためには、データサイエンスで何をやって欲しいのかを要件定義するデザイナー・シンカーの役割が重要である。

そのような方向けに、本セミナーではコミュニケーション分野でのDXの概要を論じ、神戸大学の研究例として、言語データのコーパス分析例、また、セキュリティに関する言語レポートの分類、関連文書検索、ソフトウェアの脆弱性の深刻度推定などの事例をご紹介します。企業側のデザイナー・シンカーと大学側の研究者の産学連携によってこのハードルを越える道を模索したい。

第3回 コミュニケーション分野（言語情報の有効活用！）

講演情報

講演1 コーパス言語データからの情報抽出



石川 慎一郎 教授
神戸大学 大学教育推進機構
／大学院国際文化科学研究科

【講演概要】

コーパス言語学の枠組みをふまえ、言語データからの情報抽出の手法について概説する。とくに、日本語テキストの形態素への分かち書き、文脈をふまえた語彙機能分析、出現位置情報の扱い、共起情報の解釈、語彙頻度に基づく統計的な情報要約手法について紹介を行う。また、コーパス分析手法のビジネス分野での応用可能性を議論する。

【講演者略歴】

1992年 神戸大学文学部 卒業
1994年 神戸大学大学院文学研究科 修了
2004年 岡山大学大学院文化科学研究科 修了
1999年 静岡県立大学 専任講師
2001年 広島国際大学 専任講師
2004年 神戸大学 助教授
2013年 神戸大学 教授

講演2 言語データの分類と関連データの発見



白石 善明 准教授
神戸大学大学院
工学研究科

【講演概要】

情報や通信の安全を確保するサイバーセキュリティの分野においては、暗号化やウイルス対策ソフトによる情報の保護に留まらず、インターネット上の脅威情報を収集し、積極的に活用するサイバーセキュリティインテリジェンスが注目されている。インターネット上の非構造化データから人がインテリジェンス情報を獲得するための自然言語データの分類と関連するデータの発見について解説する。サイバーセキュリティの文書を対象とした総務省の受託研究やさまざまな企業・研究機関と共同研究を行った経験を踏まえ、クレームデータなどの企業内文書のデータ処理への応用可能性を議論する。

【講演者略歴】

1995年 愛媛大学工学部 卒業
2000年 徳島大学大学院工学研究科 博士後期課程 修了
2002年 近畿大学理工学部 講師
2006年 名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授
2013年 神戸大学大学院工学研究科 准教授
2017年 (株)国際電気通信基礎技術研究所 客員研究員（兼任）

